



田村市立都路中学校

学校だより 第3号

令和6年4月26日(金)
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

都路ふるさと会の皆様、ありがとうございました

令和6年度が始まり3週間が過ぎました。年度初めや寒暖差のため体調を崩している生徒もいますが、総じて落ち着いて学校生活を送っています。特に1年生にとっては、教科担任制の授業や部活動、生徒会の活動など、大きな環境の変化に伴いからだや心の疲れが蓄積していることと思います。ゴールデンウィーク中、部活動や宿題などでゆっくりできない生徒もいるかと思いますが、短い時間でもリラックスする時間をみつけ、心とからだを整えてほしいと思います。

さて、先日ふるさと都路会の方々から本を寄贈していただきました。情報化の進展により、本離れが進んでいる昨今ですが、読書には今も昔も変わらない不易の価値があります。寄贈された本をはじめ、毎日短い時間でも読書する時間を大切にしてほしいと思います。一冊の本との出会い、本の中のことが、その人の生き方や人生観を変えてしまうかもしれない。多感な中学生時代だからこそ、読書を通して感じること、刺さる言葉があります。ぜひ、読書を楽しんでほしいと思います。

<1年生>



<2年生>



<3年生>



生きる 谷川俊太郎

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木もれ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そして
かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶらんこがゆれているということ
いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ

(詩集『うつむく青年』1971年刊)

作詞家谷川俊太郎さんの詩です。どう解釈するかは十人十色。詩集のタイトル「うつむく青年」から察すると、若い人へ、平々凡々に過ぎていく当たり前の日々こそかけがえのないもの、そんな日々の中で自分が感じたことを感じたままに自由に表現できることが生きている実感につながる。私の勝手な解釈です。